



## 建物の外を生かし、楽しむ

フランスなどのヨーロッパ、タイなどの東南アジアへ行くと、カフェでは路上脇に所狭しとテーブルや椅子が配置され、人々が飲み、食べ、話をしてる姿を多く見かける。店内はどうかというと、空席が多く、大半は外で楽しんでる。日本では歩道を邪魔している、車道に近く危険、法律では認められていない：などとなり、屋外利用は厳しく、歩道空間などを活用した屋外文化は成熟していかないように思う。しかし、家庭での屋外文化は美しい空間として家族や来町者などの憩いの場となっていることは誇りである。

さてコロナ禍から脱出した姿を思い浮かべると、建物の外をどう生かすが試される気がする。町の公共施設整備では屋外を自由に使えるような空間を多く配置している。子どもたちは芝の上を駆け回り、大人は椅子や芝に座って談話するなどの光景が見え始めてきている。木々も植えているが成長には時間が必要なところもある。が、そんな木々の下にはベンチを配置し、仲間

と談話などして時間を過ごす、家族と一緒に食事をする、一人で読書をするなど、自分にあつた好きな時間の過ごし方が思い浮かぶ。街中には木々と芝生の緑などのさまざまな空間があるので、歩きながら新しい空間探し、新しい出会いなども楽しいのではないか。

先日、本町在住の方から「町長への手紙」をいただいた。その中には「車の免許返納で「歩く生活」を組み入れたことで様々な発見ができた／大雪の山並み、田んぼや畑の四季の変化など、連日、絶景感が得られる」と記されていた。散策して楽しくなる景観の保持、途中で休憩できる空間などは大切なまちづくりである。建物の外にある贅沢な空間を、もっともっと自分自身の目で確認したいものだ。

外の風にふれ、温かい太陽の恵みに浴すること、新たな出会いなどの快感は最高に価値のある空間なのだ。これが過疎でも過密でもない、適度なまちの贅沢な暮らしの空間でもある。

町長  
松岡市郎

### オルタネート (一般書)

加藤シゲアキ / 著 新潮社 / 刊



高校生限定のマッチングアプリ「オルタネート」が必須となった現代。全国配信の料理コンテストで起こった“悲劇”の後遺症に悩む蓉。母との軋轢から“絶対真実の愛”を求めたオルタネート信奉者の風津。高校を中退し“亡霊の街”から逃れるようにシェアハウスへ潜り込んだ尚志。デジタルな世界と未分化な感情が織りなす物語の果てに、待ち受ける未来とは…。

### 42世界を変えた男 (DVD)

販売元:ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメント



1947年、アフリカ系アメリカ人のジャッキー・ロビンソンはメジャー球団と契約。当時、有色人種はメジャー初採用で、ジャッキーは敵球団や大衆、マスコミはもとより、チームメイトからも非難を浴びる。しかしどんなに理不尽な差別にも自制心を働かせ己の力を発揮することに集中する姿に人々は心を動かされ、ジャッキーはやがて野球界を、そして世界を変えていく。(128分)

### 貸し出し図書 ビデオ紹介

#### せんとぴゅあII ほんの森

【貸し出し】  
図書、紙芝居、雑誌は一人合計10点まで(15日間)  
DVDは一人2本まで(8日間)  
★本、DVDの蔵書リクエストもお受けしています



### あるヘラジカの物語 (絵本)

星野道夫 / 原案 鈴木まもる / 絵・文 あすなる書房 / 刊



アラスカのデナリの山のふもとで、1頭のオスのヘラジカがたくさんメスと暮らしていた。ある日、このメスたちを自分のものにとしようと、よそ者の1頭のオスが近づいてきた。群れをひきいるオスはよそ者に向かっていき、オスどうしの激しい戦いが始まった。野生動物の姿を撮り続けた写真家・星野道夫が遺した1枚の写真から生まれた、生命のつながりの物語。